

月	単元名	時数	評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	ひき算のヒミツ	2	・問題解決の進め方を理解している。	・答えが同じになる式のきまりについて、筋道を立てて考えたり表現したりしている。	
	1．かけ算のきまり	8	・乗法の交換法則、結合法則、分配法則など、乗法に関して成り立つ性質を理解している。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、乗法に関して成り立つ性質を見いだしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。＜思・判・表＞	・乗法に関して成り立つ性質に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
	2．時こくと時間	5	・日常生活に必要な時刻や時間を求めることができる。また、時間の単位「秒」について知り、1分＝60秒の関係を理解している。＜知・技＞	・時間の単位に着目し、時刻や時間の求め方について考察し、日常生活に生かしている。＜思・判・表＞	・時刻と時間に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。 ＜態度＞
5	2．時こくと時間	1	・日常生活に必要な時刻や時間を求めることができる。また、時間の単位「秒」について知り、1分＝60秒の関係を理解している。＜知・技＞	・時間の単位に着目し、時刻や時間の求め方について考察し、日常生活に生かしている。＜思・判・表＞	・時刻と時間に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。 ＜態度＞
	3．たし算とひき算	13	・3位数や4位数の加法及び減法の計算が、2位数などについての基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、加法及び減法の計算が確実にできる。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。＜思・判・表＞	・加法及び減法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
	4．わり算	4	・除法の意味や式について理解し、除数と商がともに1位数である除法の計算が確実にできる。また、簡単な場合について、除数が1位数で商が2位数の除法の計算のしかたを知っている。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。＜思・判・表＞	・除法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
6	4．わり算	6	・除法の意味や式について理解し、除数と商がともに1位数である除法の計算が確実にできる。また、簡単な場合について、除数が1位数で商が2位数の除法の計算のしかたを知っている。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。＜思・判・表＞	・除法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
	2分の1に分けよう	1		・方眼のます目の個数に着目し、1/2の大きさのいろいろな表し方を考えている。	
	5．長さ	5	・長さの単位「km」について知り、単位の間関係を理解し、長さについておよその見当をつけ計器を適切に選んで測定することができる。＜知・技＞	・測定するものの特徴に着目し、ものさしでは測りにくいところの長さの測り方を考えている。＜思・判・表＞	・長さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
7	6．表とぼうグラフ	7	・棒グラフや二次元表の特徴について理解し、表したりよみ取ったりすることができる。＜知・技＞	・データを整理する観点に着目し、身のまわりの事象について表やグラフを用いて考察して、見いだしたことを表現している。＜思・判・表＞	・データを分析することに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
	6．表とぼうグラフ	2	・棒グラフや二次元表の特徴について理解し、表したりよみ取ったりすることができる。＜知・技＞	・データを整理する観点に着目し、身のまわりの事象について表やグラフを用いて考察して、見いだしたことを表現している。＜思・判・表＞	・データを分析することに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
	7．あまりのあるわり算	8	・あまりのある除法の意味や式について理解し、除数と商がともに1位数である除法の計算が確実にできる。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。＜思・判・表＞	・除法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞

月	単元名	時数	評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	なみ木道	2		・木の本数と間の数の関係の問題（植木算）を、図や式などを用いて筋道を立てて考えている。	
	予備	1			
9	8．１００００より大きい数	8	・万の単位について知り、十進位取り記数法による数の表し方及び10倍、100倍、1000倍、1/10にした大きさの数について理解し、表すことができる。＜知・技＞	・数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を考え、日常生活に生かしている。＜思・判・表＞	・数を表すことに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
	9．円と球	9	・円とその中心、半径、直径について理解し、円を作図したり長さを写し取ったりする道具としてコンパスを用いることができる。また、円に関連して、球についても理解している。＜知・技＞	・円の中心、半径、直径に着目し、構成のしかたを考えとともに、図形の性質を見だし、身のまわりのものの形を円や球として捉えている。＜思・判・表＞	・円や球に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
10	かけ算とわり算の図	2	・乗法、除法の数直線のかき方を理解し、問題場面を数直線に表すことができる。	・乗法、除法の数直線のかき方を理解し、問題場面を数直線に表すことができる。	
	１０．かけ算の筆算	10	・2位数や3位数に1位数をかける乗法の計算が、乗法九九などの基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、乗法の計算が確実にできる。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。＜思・判・表＞	・乗法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
	１１．重さ	5	・重さの単位「g、kg」について知り、測定の意味と単位を理解し、重さについておよその見当をつけ単位を適切に選択して測定することができる。＜知・技＞	・身のまわりのものの特徴に着目し、単位を統合的に考察している。＜思・判・表＞	・重さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
11	１１．重さ	4	・重さの単位「g、kg」について知り、測定の意味と単位を理解し、重さについておよその見当をつけ単位を適切に選択して測定することができる。＜知・技＞	・身のまわりのものの特徴に着目し、単位を統合的に考察している。＜思・判・表＞	・重さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
	１２．分数	10	・等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表す数としての分数の意味と表し方、及び分数は単位分数のいくつ分で表せることを理解するとともに、簡単な場合について分数の加法、減法の意味を理解し、分数の大きさを比べたり計算したりすることができる。＜知・技＞	・数のまとまりに着目し、分数でも数の大きさを比べたり計算したりできるかどうかを考えているとともに、分数を日常生活に生かしている。＜思・判・表＞	・分数に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
	１３．三角形	3	・二等辺三角形、正三角形について理解し、作図などをおしてそれらの関係に次第に着目することができる。また、基本的な図形と関連して角について知っている。＜知・技＞	・図形を構成する要素に着目し、構成のしかたを考えとともに、図形の性質を見だし、身のまわりのものの形を図形として捉えている。＜思・判・表＞	・二等辺三角形、正三角形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
12	１３．三角形	6	・二等辺三角形、正三角形について理解し、作図などをおしてそれらの関係に次第に着目することができる。また、基本的な図形と関連して角について知っている。＜知・技＞	・図形を構成する要素に着目し、構成のしかたを考えとともに、図形の性質を見だし、身のまわりのものの形を図形として捉えている。＜思・判・表＞	・二等辺三角形、正三角形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
	１４．□を使った式と図	5	・数量の関係を表す式について理解し、未知の数量を□として式に表したり、□に数をあてはめて調べたりすることができる。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、数量の関係を図や式を用いて簡潔に表したり、式と図を関連づけて式をよんだりしている。＜思・判・表＞	・数量の関係を表す式に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
	タイルは何まい	1		・規則的に並んだタイルの枚数を工夫して数えることをとおして、図形、数、式の多様な見方を見いだしている。	

月	単元名	時数	評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	予備	7			
1	1 5. 小数	11	・ 端数部分の大きさを表す数としての小数の意味と表し方を理解するとともに、小数の加法、減法の意味を理解し、小数の大きさを比べたり計算したりすることができる。＜知・技＞	・ 数のまとまりに着目し、小数でも数の大きさを比べたり計算したりできるかどうかを考えるとともに、小数を日常生活に生かしている。＜思・判・表＞	・ 小数に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
	まほうじん	1		・ 提示された条件をもとに、空欄にあてはまる数値の求め方を、式を用いて筋道を立てて考えている。	
2	1 6. 2けたの数のかけ算	10	・ 2位数や3位数に2位数をかける乗法の計算が、乗法九九などの基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、乗法の計算が確実にできる。＜知・技＞	・ 数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしったりしている。＜思・判・表＞	・ 乗法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
	ドッジボールのコートをかこう	1		・ 図形の定義や性質、作図のしかたを、日常生活の問題解決に生かしている。	
	1 7. 倍の計算	3	・ ある数量がもう一方の数量の何倍かを求める場合や、もとにする大きさを求める場合に、除法が用いられることを理解している。＜知・技＞	・ ある数量ともう一方の数量との関係に着目し、図や式などを用いて、既習の乗法や除法と関連づけながら演算の意味を考察している。＜思・判・表＞	・ 倍の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
	1 8. そろばん	3	・ そろばんによる数の表し方を理解し、簡単な加法及び減法の計算ができる。＜知・技＞	・ そろばんのしくみに着目し、簡単な加法及び減法の計算のしかたを考えている。＜思・判・表＞	・ そろばんに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
3	カレンダーを調べよう	1		・ 規則的に並んだ数のきまりを筋道を立てて考えている。	
	算数を使って調べよう	2		・ 表やグラフを用いて表されたデータをよみ取ったり、その根拠についてデータをもとに説明したりするなど、算数の学習を活用して考え表現している。 ・ 日常の場面から算数の問題を見だし、長さや円などの学習を活用して解決したり、言葉や図、式などを用いて説明したりするなど、算数の学習を活用して考え表現している。	
	3年のまとめ	4	・ 第3学年の学習内容について、知識及び技能を身につけている。		
	予備	4			

[illegible]